



団結力と連携力で地域の安全を守る

くりばやし やすあき

栗林 靖明 さん

PROFILE

くりばやし やすあき(白羽区・42)
市消防団長。平成13年度に入団し、
分団長、本部長、副団長を歴任。

新消防団長に就任

消防防災のリーダーとして地域に密着し、住民の安全安心を守っている消防団。今年の4月、新たに団長に就任した栗林靖明さん。26歳で入団し、33歳で分団長を務めた。一度は退団したが、本部長として消防団に再入団した。

「消防団に入った頃は、活動を通じて、たくさんの方の地域の人と知り合うことができ、団活動は私生活にも役立った。その後、本部長の話をもらったときはとても驚いた。指導する立場になって悩むこともあったが、他の本部長とも話し合うことでやってこられた。今回、団長を任されて誇らしくもあり、責任の重さを実感している」と話した。

消防団員は地域の代表

栗林団長は地域とのつながりを大切にしている。「例えば近所で火災が起きれば、近くに住む人が集まり消火活動に当たると思う。消防団というのは、そうした助け合いの延長で、特別なものではないと思っています。市民の皆さんには、消防団を地域の代表として

送り出しているという感覚で見守ってほしい」と話す。

本年度から消防団は消防本部の管轄となった。栗林団長は「日頃から直接やりとりをするようになったことで、遠慮が減り、現場での連携がしやすくなった。連携が深まることにより、火災現場などで迅速な消火活動ができる。それが市民の安全安心につながる」と新体制について話す。

心ひとつに地域を守る

「組織というものはまとまらなければうまく機能しない。しっかりと団結し地域を守っていかなくてはいけない」と思っている。現代は価値観や職業もさまざま一つにまとまるのはとても難しい。入団者が減っている中、団員として活躍してもらっている皆さんにはとても感謝している。だからこそ、一丸となってまとまれるよう団全体の目指す方向を示していきたい」と団長としての熱い気持ちを語ってくれた。

団結・連携の力を重んじた栗林団長の姿勢は消防団を一つにまとめ、地域の安全を守っていく。